

名古屋 まちなみデザイン セレクション

まちなみデザイン20選
まちなみデザイン貢献賞
選 集



見晴らしがいい。

ほっとする。



NAGOYA's PRIDE
まちを知る、まちを想う。

歴史を感じる。

いつも通るみち。

おしゃれ、カッコいい。

こんな場所あったんだ。

いまを感じる。

名古屋といえばここ。

気持ちがいい。

季節を感じる。

なつかしい。

きれい。

思い出の場所。

わたしだけの場所。



ずっと続いてほしい。

名古屋市



第2回 名古屋まちなみデザインセレクション



名古屋市長
河村 たかし

第2回名古屋まちなみデザインセレクションによせて

名古屋のまちは、今 “大きな転換期” を迎えています。リニア中央新幹線の工事実施計画が昨年認可され、2027年の開業を見据えたまちづくりが本格的に始まっています。

将来にわたり、名古屋のまちが世界を惹きつけ活気に溢れた都市となるためには、都市魅力の向上がとても大切です。

その重要な要素の1つである都市景観について考えると、名古屋のまちには新しいもの、古いもの、賑わい、自然等々、たくさんの魅力が詰まっています。

それらを発掘し、皆さんと共有・情報発信していくのが、この「名古屋まちなみデザインセレクション」です。

2回目を迎えた今回も、多くの市民の皆さんから投稿をいただきました。その中から【まちなみデザイン20選(第2回)】を市民投票により、【まちなみデザイン貢献賞(旧都市景観賞)】を有識者の意見を踏まえ、それぞれ決定いたしました。

こうした積み重ねが、市民の皆さんの宝となり、また、すぐれた景観形成にご尽力いただいた皆さんの誇りとなって、自慢できるまち名古屋につながることを願っています。



総評
有識者懇談会 座長
岡田 憲久

まちなみデザイン貢献賞 ―都市の豊かさとは―

都市景観といえば今までは卓越したデザインの新しい建物や歴史的建造物などが中心に評価されてきましたが、今回のまちなみデザインセレクションでは前回とはまた異なる、多様な視点から「お気に入りの風景」が寄せられ、なかでも緑や自然にかかわる景観や市民活動が大きな特徴になってきているのを強く感じます。

まちなみデザイン貢献賞では、知る人ぞ知る限られた評価でしかなかった繁華街に残る小路の風景が取り上げられました。名古屋市民に親しまれてきた巨大マネキンが都市景観として評価されるのも特筆すべきことだと思います。アートイベント作品がまちの機能と一体化して残ったもの、名古屋駅前の急速に進む再開発に伴う市民活動などは今までなかった都市への働きかけの姿です。昭和初期のオフィスビルは今でも現役でまちに趣きを与えています。一方で新しい建物による魅力的なまちなみも生まれています。

こんなにも多くの人たちが様々な視点でお気に入りの風景を挙げる多様な都市の姿から、私たちは、次の時代の都市の豊かさとは何なのかを考えたいと思います。なにを作っていかなければならないのか、何を残し守っていかなければならないのか、何を育てていくことが都市の豊かさにつながるのだろうかということ。





趣 旨

市民の皆さんにとって、身近な名古屋の風景をとりあげ、「お気に入りの風景」に関する投稿や市民投票への参加などをきっかけとして、名古屋のまちへの愛着や誇りを高め、魅力ある風景づくりへの関心をもっていただくことを期待して実施しました。

流 れ

投稿募集

お気に入りの風景・まちなみ(投稿数:327件)
平成26年4月21日～8月20日

紹 介

名古屋まちなみデザインセレクション
公式SNS (フェイスブック・ツイッター)掲載

投稿いただいた風景を随時紹介しました。



選 定

第2回 まちなみ
デザイン20選

▶ 3ページ

市民投票により決定

投稿いただいた中から、市民の皆さんが「好き・大切にしたい」風景・まちなみを市民投票(一人5件まで)により選定するもの
※まちなみデザイン20選(第1回)重複等一部整理



オアシス21会場での市民投票の様子

市民投票(投票者数:2,340人 11,345票)

会場投票

- ・平成26年10月3日～5日/オアシス21
- ・平成26年10月17日～19日/金山総合駅連絡通路橋
- ・平成26年10月21日～26日/名古屋都市センター
- 電子メール投票:平成26年10月1日～30日

まちなみ
デザイン貢献賞

▶ 14ページ

都市景観賞が生まれ変わりました

投稿いただいた中から、良好な風景・まちなみに貢献している「建築物・屋外広告物・まちづくり活動等」を、書類審査および現地審査による有識者懇談会各委員の意見を踏まえて決定し所有者・設計者・活動団体等を表彰するもの

名古屋まちなみデザインセレクション有識者懇談会

岡田 憲久	名古屋造形大学教授(ランドスケープ)
稀 温	コーディネーター(デザイン)
黒田 千香子	国際デザインセンター事業部長(デザイン)
小 松 尚	名古屋大学大学院准教授(建築)
水 津 功	愛知県立芸術大学教授(ランドスケープ)
中 島 幸子	名古屋リビング新聞社部長(文化)
山 田 正 博	愛知建築士会副会長(建築)

[五十音順・敬称略]

20選発表
貢献賞表彰

発表・表彰式

平成27年3月 市役所・正庁にて
まちなみデザイン20選(第2回)の発表
まちなみデザイン貢献賞の市長表彰
有識者による座談会



前回の発表・表彰式の様子

P R

選集・各種広報媒体によるPR

選集(本冊子)の配布、市の広報媒体による広報、市役所内での常設パネル展示などにより紹介

名古屋市公式HP <http://www.city.nagoya.jp/>

名古屋まちなみデザインセレクションや歴代の名古屋市都市景観賞については、名古屋市公式HPでご覧いただけます。



一市民投票で選定された20の風景一

● 鶴舞公園 奏楽堂とバラ	4
● 東山動植物園 植物園のもみじ谷	4
● (愛知芸術文化センター展望回廊からみた)名古屋駅高層ビル群の夕焼け	5
● 千種公園のイチョウ並木	5
● 四間道の町並み	6
● 名古屋市市政資料館	6
● 市道平和公園線のトウカエデの並木	7
● 揚輝荘(北園)の庭園	7
● 名古屋テレビ塔とオアシス21のライトアップ	8
● (名城歩道橋からみた)加藤清正像と名古屋城大天守	8
● 名古屋市役所本庁舎と愛知県庁本庁舎	9
● 宮の渡し	9
● 名古屋城外堀の石垣	10
● (ガーデンふ頭からみた)名古屋港の夕景	10
● 堀川(黒川)の桜	11
● (ふれあい橋からみた)夕陽とザ・シーン城北	11
● 名古屋市科学館	12
● 庄内緑地の大噴水	12
● オアシス21のライトアップ	13
● 香流川緑道の桜並木	13

※投稿コメントおよび掲載写真は、投稿者のものを使用しています。

※得票順に掲載しています。

■投稿コメント この奏楽堂は他の公園にない風景なので、鶴舞公園に来たなといつも感じます。また鶴舞公園のバラはとても綺麗でした。

■投稿者:石河チャワランさん



■所在地
昭和区鶴舞1丁目

奏楽堂は明治43年、第10回関西府県連合共進会の際に建造され市へ寄付。昭和初期の台風被害後に異なる形で再建されたが平成9年当初の姿で復元。屋根下ステージの手すりには君が代の楽譜と白鳥がデザインされている。一般貸出されコンサートのほか結婚式が行われることもある。バラは約120種1,400株。5月中旬～6月上旬、10～11月が見頃。最近は奏楽堂やバラを背景に様々な衣装で撮影を行う人も多い。



■投稿コメント 植物園入口より1, 2分で本格的な庭園に出会い、ただの植物園以上のすばらしさを感じました。

■投稿者:荻本芳一さん



■所在地
千種区東山元町3丁目

植物園は民間企業の寄附25万円をもとに工事着手され、昭和12年に開園。写真は奥池付近の和風エリアで、左上には昭和31年にダム建設に伴って岐阜県白川村から移築された合掌造りの家がみえる。植物園のもみじ谷には紅葉する樹木が約500本あり、平成25年から実施されている「もみじ狩り紅葉ライトアップ」期間中は多くの来園者で賑わっている。

■投稿コメント かねてより、JRセントラルタワーズとミッドランドスクエアの間に夕日が輝く写真を狙っていました。毎年3月と9月の数日が撮影のチャンスですが、雲が厚かったり、お天気が良すぎて夕景にならなかったりで思い通りにいきませんでした。思いが天に通じたようで、この日はほどよい夕景に恵まれました。感謝！



所在地(視点場)
(愛知芸術文化センター)
東区東桜一丁目

愛知芸術文化センター 11階にある展望回廊からは、目下にオアシス21、北西に名古屋テレビ塔、そして真西に名古屋駅がみえる。まさに芸術を楽しむつつ都心を一望できる絶好の視点場である。このロケーションを活かしアーティストの作品展示の場としても活用されている。開館時間には無料開放されている。

■投稿コメント 公園の中央を走る曲線の舗道。その両側に連なる銀杏並木。普段は何気に人が行き交っているところですが、ぐるり黄色の世界に染まった紅葉の季節がお気に入り。この道を北から南に向かってゆっくり、そして時々立ち止まりながら歩いてみて下さい。一瞬、パリの散歩道でカフェ気分。絵画の中に入り込んだような錯覚をお楽しみ下さい。人通りの少ない午前中がオススメかも。新緑の季節の木もれ日も優しく、落葉後の枝だけになった姿も粋で、別の世界が味わえます。



所在地
千種区若水一丁目

千種公園は名古屋陸軍造兵廠(ごうへいしょう)千種製造所跡地の一部にあり、昭和45年公園として供用開始された。延長約200mのイチョウ並木のほか、戦前から残る大きなイチョウや5月下旬から6月中旬頃に見頃を迎えるユリも有名である。



■投稿コメント 清州越えた名古屋築城の資材運送に使われた堀川沿いに商社が並び、その倉庫が昔の面影のまま残っている。

■投稿者: 荻本芳一さん



■所在地
西区那古野一丁目

四間道界隈は、堀川の西、桜通の北に位置し名古屋城築城時にできたまちで、通りの東は町人が住み、西は農民が住む境界であった。1700年の大火後、道路が4間(約7m)に広がり、写真にある石垣の上に建つ土蔵群は、1740年頃に通りの東側に形成された。昭和61年に名古屋市町並み保存地区に指定。平成21年度都市景観賞受賞。

■投稿コメント 1922年に建築された美しいネオバロック様式の建物で、国の重要文化財に指定されています。建物内も大理石等使用されていて格調が高く、外観の屋上部分も美しい物になっているのが良いと思います。



■所在地
東区白壁一丁目

大正11年に建築され現存する最古の控訴院(現在の高等裁判所に相当)建築。昭和54年まで裁判所として使用した後、取壊し計画があったが昭和59年に国の重要文化財に指定。平成元年に創建当時の姿に復原し市政資料館として活用されている。大理石造りの階段や大きなステンドグラスも見どころ。中は無料で見学できる。平成2年度都市景観賞。



■投稿コメント 紅葉したトウカエデの並木通りは美しい眺めで散歩に良いところです。 ■投稿者:西村聡さん



■所在地
千種区 新池町バス停付近

トウカエデは名古屋の地質によく合い、成長が早く、木が固いため台風に対する抵抗力も強いとされ、並木として採用したのは名古屋が日本で最初といわれている。50年前、市内の並木はイチョウが一番多かったが、昭和30年代以降、トウカエデが多く植栽され、現在はイチョウを抜いて一番多く約22,000本植栽されている。



■投稿コメント 静かで小鳥がよく集ってくる。池があり、旧き建物が昔を語ってくれる。赤い鳥居は豊彦稻荷への階段。 ■投稿者:八島昭子さん



■所在地
千種区法王町二丁目

揚輝荘は大正から昭和初期にかけて建設された(株)松坂屋初代社長の別荘。その後、空襲などで多くの建物を消失した。現在残る北園と南園は平成19年名古屋市に寄付された。北園の庭園は池を中心に園内を回遊して鑑賞する池泉回遊式庭園。写真の白雲橋ほか伴華楼、三賞亭が市指定文化財に指定され、北園は無料で入場できる。

■投稿コメント テレビ塔とオアシス21の光りのコントラストがきれいです。

■投稿者:千田信久さん



■所在地
(名古屋テレビ塔)中区錦三丁目
(オアシス21)東区東桜一丁目

テレビ塔のライトアップは開業60周年を迎えた平成26年6月20日、LED照明を11,000個使用した「新ライティング・煌(きらめき)」に切替えられ、平成元年以来のライトアップが一新された。通常モードのほか時間や季節のシーン等により変化が楽しめ、オアシス21と一体となって栄の夜を彩っている。



■投稿コメント 城の外から名古屋城が眺められる数少ないスポット。歩道橋の高台から清正像と大天守がよくみえます。観光客にも足を運んでほしい場所です。



■所在地(視点場)
(名城歩道橋)中区三の丸一丁目

加藤清正は築城の名手と知られ、慶長15年(1610)名古屋城築城の普請(土木工事)において天守の石垣を築いている。清正像はこの場所のほか城内・二之丸にもある。写真の大天守の下にみえる白い建物は地下にある名城変電所の地上施設で、名古屋城や能楽堂などの周辺に調和したものとして平成11年度都市景観賞を受賞している。

■投稿コメント レトロな雰囲気の行政施設が鎮座するこの付近。少し遠くを見ればランドマークのテレビ塔が顔を出しています。まさに名古屋といった感じで、ここからの景色が大好きです。

■投稿者:小林淳さん



■所在地
中区三の丸三丁目

名古屋市役所本庁舎(写真左)は3代目の建物で昭和8年に、愛知県庁本庁舎(写真右)は昭和13年に、ともに栄地区からの移転に伴い建設された。両建物は、鉄筋コンクリート造の洋式建築に和風の屋根を載せた和洋折衷の帝冠様式で、平成元年に名古屋市都市景観重要建築物、平成26年に国の重要文化財に指定された。

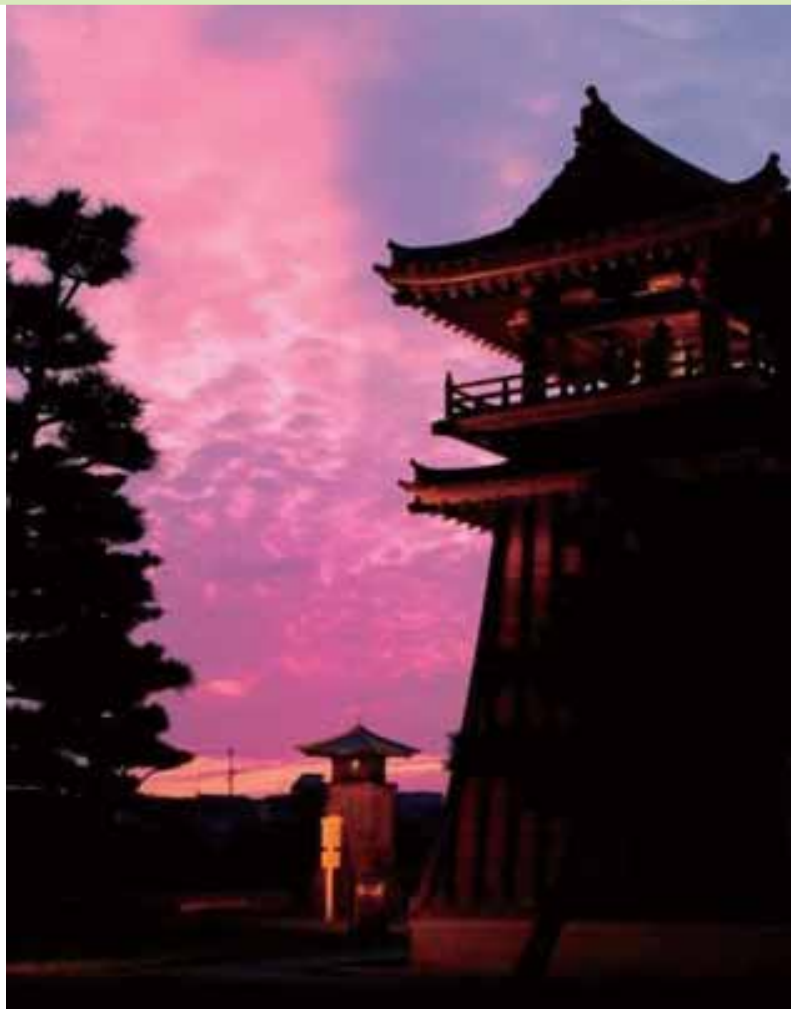
■投稿コメント 常夜灯の夕景。自宅が近くにあり、周辺をよく散策いたしますが、この夕景を見ると故郷の三方が原大地(浜松市)に沈む夕日を思い出します。父・母は元気にしてだろうか、弟妹たちは?と過ぎし日の思い出に浸ったものです。

■投稿者:前嶋博さん



■所在地
熱田区神戸町(宮の渡し公園内)

宮の渡しは東海道唯一の渡海路の船着場。「時の鐘」(写真右)で旅人に船出の時刻を知らせていた。「常夜灯」(写真中央)は明治維新で廃止された後、昭和30年に復元された。現在、熱田と桑名を結ぶ七里の渡しの観光舟運が不定期で行われている。宮の渡し公園は昭和59年度都市景観賞。



■投稿コメント 日本の石垣技術の粋をこらした石垣で、石垣の美が感じられる。



■所在地
中区本丸

名古屋城北側の外堀周辺は石垣が水面から10m程立ち上がり、堀の豊かな水面越しに美しい石垣を眺望することができる。西之丸と御深井丸の間には、防衛上の理由から入り組んだ堀(写真右)が設けられており鵜の首と呼ばれ、現在は4ヶ所残っている。

■投稿コメント 沈みゆく太陽が水面に金色に輝き、その中を走るボートの航跡、遠くに見える港の建物が一体となって素敵な名古屋港の夕景を演出しています。

■投稿者:城倉博さん



■所在地(視点場)
(ガーデンふ頭)港区港町

名古屋港は、取扱貨物量などのほか、港の陸地部分(臨港地区)が日本一で東京港と横浜港をあわせた面積より広く、ナゴヤドーム870個分ある。ガーデンふ頭からは名古屋港が一望でき、港を行き交う船や貨物の積み下ろし風景を眺めることができる。



■投稿者:千田信久さん



■所在地
北区 夫婦橋～城北橋付近

名古屋城築城から約50年後、庄内川からお堀に水を引くため御用水がつくられ、堤には水温上昇を防ぐ松が植えられていた。明治9年並行して黒川が整備され御用水は昭和47年に廃止された。夫婦橋から猿投橋の左岸に整備された御用水跡街園をはじめ名城公園以北の堀川(黒川)の桜は600本を超える。また、桜の時期には平成21年度都市景観賞の友禅流しも行われる。



■投稿コメント わたしのお気に入りの場所は、通称ふれあい橋から見る夕陽とザ・シーン城北です。疲れたときや悩んだとき、もちろん嬉しいときこの場所を訪れて、夕陽を見ると、明日を頑張る力をもらえます。

■投稿者:黒沼結さん



所在地(視点場)
(ふれあい橋)
北区成願寺町・楠町味鋤

ふれあい橋は、庄内川と矢田川あわせて約350mを跨ぐ有効幅員約4mの人道橋で平成5年完成。それぞれの川を延長171.9mの橋が2つ架かる。ザ・シーン城北は、ユニークな楕円形の形状をもつ高さ160mのアストロタワーほか3棟からなるマンションで平成8年完成。

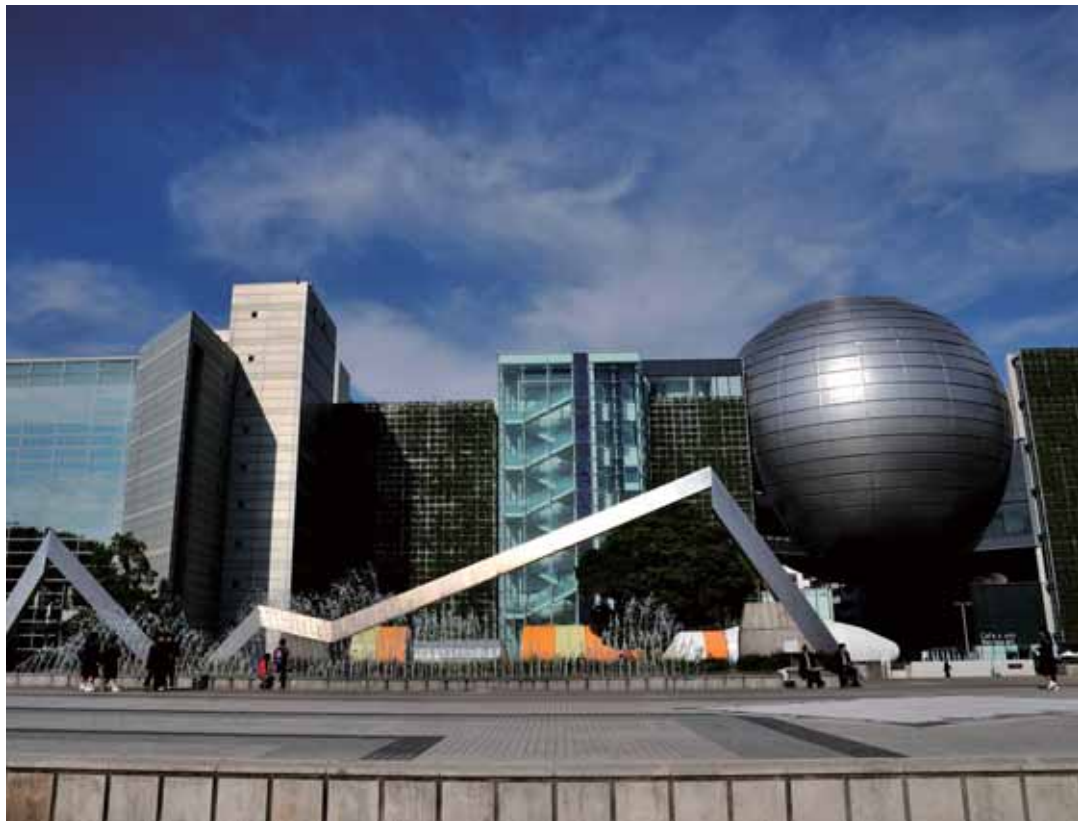
■投稿コメント プラネタリウムや展示が面白いのはもちろん、さらに外観や内部もデザイン性にあふれていて、何度でも訪れたい場所です。

■投稿者:井上英樹さん



■所在地
中区栄二丁目 白川公園内

名古屋市科学館は白川公園にあり、生命館を除く天文館、理工館が平成23年にリニューアルされた。世界最大のプラネタリウムがある巨大な球体は直径39.2mで地上約11mの高さで浮いているような意匠が特徴的。そのほか風力発電など建物自体が展示となるさまざまな工夫がされている。科学館の前にある白川公園イメージウォール「円・景」は昭和61年度都市景観賞受賞。



■投稿コメント 夏の空と噴水の冷たさが心地よく、季節を感じることが出来た為。

■投稿者:相澤勉さん

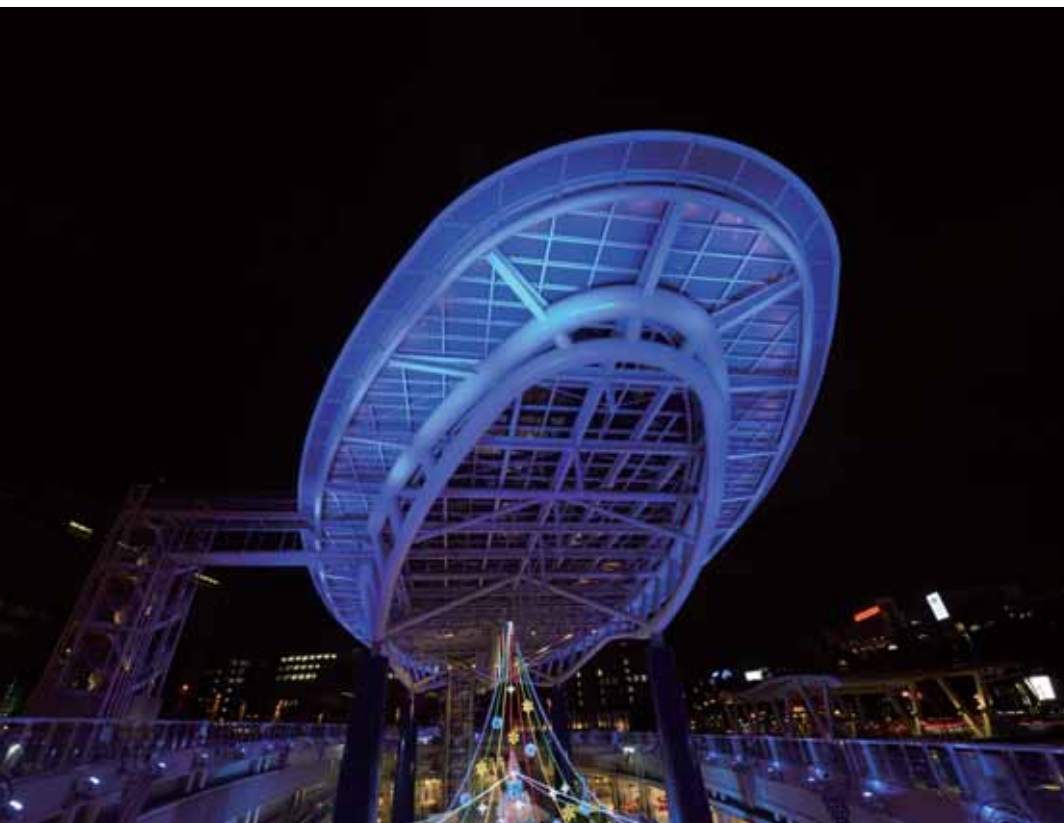


■所在地
西区山田町

庄内緑地の大噴水は公園の中心的な施設で昭和61年4月に設置。涼を求めて親子連れをはじめ多くの人が集まる。庄内緑地は「水と緑と太陽を」をテーマとした総合公園で「庄内緑地グリーンプラザ及び大噴水」が昭和61年度都市景観賞を受賞している。

■投稿コメント ライトアップされたオアシス21が本物の宇宙船みたいでかっこよかったです。

■投稿者: 林諭志さん



所在地
東区東桜一丁目

開業10周年を迎えた平成24年10月、最新の屋外式大型LED機器を42台配置する形でリニューアルされた。四季の彩として、春は桃色、夏は青色など四季をテーマとした季節ごとのライティングを行うとともに、年中行事やイベント時には光の宝石箱としてダイナミックな演出がされている。

■投稿コメント 香流川の両岸に500本あると言われる桜並木が2キロに渡って続きます。遊歩道を歩きながら、時にはベンチに座って、ゆっくりお花見が楽しめるお勧めの場所です。

■投稿者: 井上英樹さん



所在地
名東区 延珠橋付近～新屋敷橋



昭和56年、名古屋市の緑道整備により延珠橋の上手から新屋敷橋までの延長約2kmに約500本の桜が植えられた。現在は大きく育ち、花見の名所となっている。緑道にはベンチが設置され休憩しながら散歩ができる。4月には地元学区のお祭りも行われる。

ー良好なまちなみの形成に貢献する物件および活動ー

●太洋ビル 15

●ナナちゃん人形 16

●公共空間の利活用を通じたまちづくり社会実験 17

●伏見地下街出入口・長者町ブループリント 18

●旧南大津通三丁目の小路 19

●BLUE BLUE NAGOYAの建物の緑化 20

●愛知時計電機株式会社 新事務棟 21

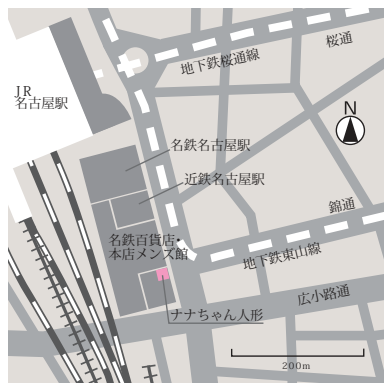


- 所在地
東区代官町
- 所有者
太洋商工株式会社
- 設計者
星野保則
- 完成時期
昭和6年
- 概要
鉄筋コンクリート造 地上5階、地下1階

■講評

昭和初期に流行した建築スタイルを今に残す太洋ビルの佇まいは、装飾的な要素を持ちながらも端整で品が良く嫌みが無い。改修も元の印象を失わないよう丁寧で、大事にされている事が伝わってくる。このビルが今まで生き長らえたのは強烈な個性によってではなく、寛大で押し付けがましくない印象、誰からも愛されるつつましい名脇役といった風が幸いしたのではないかな。建築事務所やデザイン関係のオフィスが多いことから、建物の持つ佇まいが人を引き寄せていることを窺わせる。建築家の作家性やそれを建てさせた建築主のオーナーシップも重要であるが、ここで日常を送りたいと思わせるような価値を市民に提供できることこそ建築意匠の社会的使命であるとすれば、こうした良質で強く主張しない建築の価値はもっと評価されていると思う。〔水津功〕



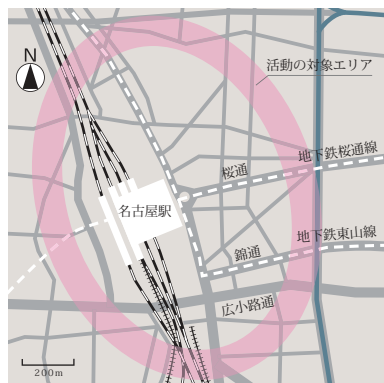


- 所在地
中村区名駅1丁目
- 設置時期
昭和48年
- 管理者
株式会社名鉄百貨店



■ 講 評

1973年、当時の名鉄百貨店セブン館前に出現したナナちゃん。スイスデザインの巨大マネキンはいまやナゴヤエキのシンボルとしてなくてはならない存在。そのシンプルさゆえ、さまざまなファッションの「七変化」で40年以上も私たちを楽しませてくれる、まさにコスプレの元祖的存在といえるでしょう。広告媒体として、街の景観を彩るモニュメントとして、いつも時代の感覚と流行を伝えてくれる名古屋のアイドル。これからもその変身ぶりに注目です。〔黒田千香子〕



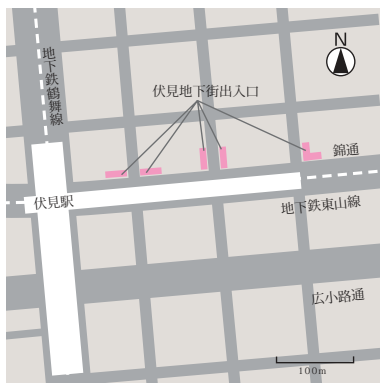
所在地
名古屋駅地区(中村区、西区)

活動団体
名古屋駅地区街づくり協議会



講評

名古屋駅地区まちづくり協議会の関連事業として実施されたこの社会実験では、歩道に沿って設置された工事現場の仮囲いの形態を活かした広告デザインとともに、その広告料収入の一部にて公共還元(道路清掃や花壇の維持管理など)が行われ、その結果として心地よい街路空間を生み出している点が高く評価された。すなわち、景観づくりはその構成要素の審美性だけでなく、それらに関連づけて持続的に実現するための仕組みが肝要であることを、この社会実験の成果を通じて共有したい。〔小松尚〕



- 所在地
中区錦2丁目
- 所有者
伏見地下街協同組合
- 設計者(長者町ブループリント)
打開連合設計事務所(台湾)
- 活動団体
あいちトリエンナーレ実行委員会
- 完成時期(長者町ブループリント)
平成25年

講評

名古屋のまちがアートで彩られた「あいちトリエンナーレ2013」。なかでも、印象的だったのが長者町会場の一角にあったここ。ひと際目を引くブルーの出入口を降りたところに広がるのは、アートの世界です。地下街をまるっとアートにしてしまうなんて、なんて斬新！ なんてエキセントリック！ トリエンナーレ終了後もこの不思議空間は残され、地下では若い力が芽生えてきています。アートで広がる「まちづくり」に、今後も大いに期待したいですね。〔中島幸子〕



撮影：怡土鉄夫 提供：あいちトリエンナーレ実行委員会



所在地
中区栄3丁目
所有者
個人

講評

45年前に日陰を作るために植えられたヤマフジが育ち3階建てのコンクリートの住宅を覆っています。街中の瀟洒で野性味ある風情に魅せられ、建物1階の車庫として使われていたスペースがファッションの店舗になりました。波及効果があったからか、この界限には緑多い建物が増えてきており、若い人たちが落ち葉を掃除している姿が目に入るようになりました。スクラップ・アンド・ビルドが主流の時代に、緑が仲立ちとなった都市のおしゃれな熟成の姿がここにあります。〔岡田憲久〕





- 所在地
熱田区千年一丁目
- 所有者
愛知時計電機株式会社
- 設計者
株式会社日建設計
- 完成時期
平成25年
- 概要
鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造
地上6階建 延床面積12,510.76 m²

講評

計測機器メーカーの創業115周年事業として新事務棟は建設された。堀川運河に架かる白鳥橋からの景観は建物の質感を抑えるためファサードをガラス張りとしシンプルな庇が環境にとけこみ川面を通り抜ける風と光と大空を背に受け美しい景観を演出している。また、東海地震に備え近隣住民の避難場所として機能するように計画されている事も工業地域に立地する企業の先駆けとなる事例として評価された。

〔山田正博〕



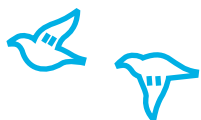
〈参考文献・資料〉

- 「名古屋の公園100年のあゆみ」 平成22年 名古屋市・(財)名古屋市みどりの協会
 - なごやの緑 昭和48年 名古屋市市民局
 - 2014年名古屋市みどりの年報 名古屋市緑地管理課
- 名古屋開府400年記念誌尾張名古屋大百科 2010年 名古屋開府400年事業実行委員会
 - 名古屋市熱田区誌 昭和62年 熱田区制五十周年記念事業実行委員会
 - 栄公園史 平成26年 名古屋市、栄公園振興(株)
 - 名古屋城なるほどなっとく検定 平成20年(財)名古屋城振興協会
 - 名古屋港景観基本計画(第2版) 平成21年 名古屋港管理組合
 - 名東区の名木 (公財)名古屋市みどりの協会
- 「建物自体が一つの展示となる新館」名古屋市科学館紀要第37号10-13 (2011年)
- 「名古屋市四間道町並み保存地区保存計画」 昭和61年 名古屋市教育委員会



第2回名古屋まちなみデザインセレクション
まちなみデザイン20選
まちなみデザイン貢献賞
選集

主 催／名古屋市長官邸都市計画部都市景観室
TEL：052-972-2732
E-mail：a2732@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp
共 催／公益社団法人愛知建築士会
株式会社国際デザインセンター
公益財団法人名古屋まちづくり公社
協 力／栄公園振興株式会社
発 行／平成27年3月



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization



City of design NAGOYA

Member of the UNESCO
Creative Cities Network
since 2008

ユネスコ・デザイン都市なごや 推進事業